

校長室だより  
NO. 29  
令和元年10月7日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高 須 亮 平

## やればできる力を信じて勝ち得た優勝・ソフトボール部女子

今年度から岡崎市では、10月2日（水）～4日（金）に秋休み（キッズデイズ）を設定し、小学校では市球技大会、中学校では市新人戦というように部活動の大会が開催されました。天候が少し心配されましたが、秋のさわやかな気候の中で、子どもたちは日頃からの部活動での練習の成果を発揮しようと、どの会場でもがんばる姿が見られました。また、多くの保護者の皆様にも応援に駆けつけていただき、子どもたちは生き生きと活動することができていました。保護者の皆様の陰でのいろいろなご支援には感謝申し上げます。次が、本校のすべての戦績です。

### 【岡崎市小学校球技大会・本校の全戦績】

- ソフトボール女子 [優勝]
  - 決勝 本校 11 - 3 矢作東小
  - 準決勝 本校 10 - 0 矢作南小
  - 1回戦 本校 24 - 1 附属小
- ソフトボール男子 [ベスト8]
  - 準々決勝 本校 7 - 8 井田小（延長10回）
  - 3回戦 本校 11 - 1 連尺小
  - 2回戦 本校 7 - 6 矢作東小
  - 1回戦 本校 18 - 0 形埜小
- サッカー [ベスト8]
  - 準々決勝 本校 0 - 4 細川小
  - 2回戦 本校 2 - 1 大樹寺小
  - 1回戦 本校 1 - 1 岩津小  
(PK 2 - 0)
- バレーボール女子
  - 2回戦 本校 0 - 2 井田小
  - 1回戦 本校 2 - 1 常磐小
- バレーボール男子
  - 1回戦 本校 0 - 2 矢作北小
- バスケットボール女子
  - 1回戦 本校 27 - 41 大門小



ソフトボール部女子



ソフトボール部男子



サッカー部

優勝に輝いたソフトボール部女子の皆さん、おめでとうございます。ソフトボール部女子のチームは、キャプテンでピッチャーの高橋理桜さん（6年2組）を中心によくまとまっていた。得点だけを見ると他を圧倒して勝ち進んでいたようですが、特別な強打者や目立った選手がいたわけではありませんでした。チーム一人一人が互いに声を掛け合い、力を合わせた優勝でした。プレーの面で言うならば、他の学校のチームと比べると、攻守にミスが少なかったのは事実でした。キャッチボールをきちんと行うなどの基礎・基本に忠実であったので、ボールを投げること、受けることが確実であったことがあげられます。

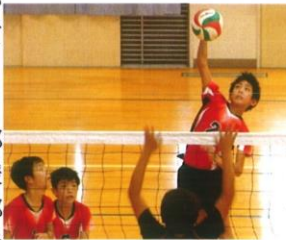
よく考えてみると、それだけではなく、ソフトボール部女子の毎日の練習の姿勢から優れていました。それは、授業が終わると、チーム全員が運動場に即座に集合して、部活動の練習を始めることができていたのです。どの部活動も、チーム一人一人の大会にかける意気込みは相当なものであったと思いますが、それを当たり前のように毎日の練習の態度で示し、実行していたことがすばらしいと思います。そのような日々の練習の姿勢に裏付けられた優勝でもあったと言えると思います。つまり、部活動を通して心身ともに成長していることが伝わってきます。

その他の部活動は、残念ながら負けてしまったわけですが、勝つことが確かに目標ではありましたが、部活動の目的はそれだけではなく、チーム一人一人が力を合わせることであったり、たとえ負けていても最後まであきらめることなく粘り強く取り組むことであったりします。私は子どもたちの試合の姿を見る中で、どの部活動もそのような姿が見られ、とてもうれしく感じていました。たとえ負けたとしても、それはこれからの生活に必ずや生かすことができるものだと思いますし、また生かすような指導をしていきたいものです。

これで部活動は、6年生から5年生へバトンパスをしていきます。4・5年生は、この市球技大会、またこれまでの練習の中で6年生のすばらしい姿を見てきています。その6年生のよさを生かして、さらに高めていってほしいものと思います。そうなっ



バレーボール部女子



バレーボール部男子



バスケットボール部女子



念願の優勝旗を手にしたソフトボール部女子

ていけば、部活動を通して、授業では得られないすばらしい力を、子どもたちが身に付けていくことになります。今後も、子どもたちの部活動の取り組みをどうぞご支援ください。